

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

『一人ひとりのいのちの輝きを大切に』を合言葉に、すべての子どもたちの自立と社会参加をめざし、学校・保護者・地域や関係機関との連携を図り、子どもたちの障がいや発達状況に応じた専門性の高い教育活動を行う学校をめざします。その実現のために、以下の4点を重点とした学校経営に取り組みます。

1. 児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動をすすめる学校
2. 支援教育に関する高い専門性に基づく教育をすすめる学校
3. 保護者や地域に信頼される開かれた学校
4. 児童生徒の生命を慈しみ人権を守る安心で安全な学校

2 中期的目標

1. 一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動の推進

- (1) 児童生徒一人ひとりのニーズに応じた自己実現や社会参加を促進する。
- (2) 学部間の連携を深め、児童生徒一人ひとりのニーズに応じたキャリア教育等の充実を図る。
- (3) 「学校経営推進費事業」の「パワー自立活動プロジェクト」(2年目)等を通して、自立活動の指導の充実をめざす。
- (4) 「個別の教育支援計画」の活用による教育活動の充実を図る。

キャリア教育：すべての児童生徒の願いに基づいて、ライフステージや発達段階に応じた課題や役割を果たすことで、意欲や生きる力を身につけ、社会参加と自立および豊かな生活をする力を育む

教職員向け学校教育自己診断におけるキャリア教育に対する肯定的回答率については、令和元年度の67%に毎年増加をめざし、令和4年度には80%とする。

2. 支援教育に関する高い専門性と授業力の向上

- (1) 新学習指導要領に対応した教育課程を実践する。
- (2) 様々な児童生徒のニーズに対応できる専門性や授業力の向上を図る。
- (3) 教育環境（ICT 機器・自立活動に関する機器・生涯スポーツ器具など）を整備し、それらを活用した指導内容の充実を図る。
- (4) 効率的・機能的な運営組織や業務の見直しを図りながら、教員の働き方改革を推進する。

3. 保護者や地域に信頼される開かれた学校づくり

- (1) 学校情報の積極的な発信に努める。特に学校ホームページの内容のスピーディーな更新と地域への広報活動の充実をめざす。
- (2) 進路指導を充実するとともに進路に関する適切な情報を全校的に提供する。
- (3) 「ともに学び、ともに育つ」教育を推進し、小中高校との「交流及び共同学習」を計画的、組織的に継続して実施する。
- (4) 地域における支援教育の専門性向上のため、リーディングスタッフを中心としたセンター的機能の充実を進める。
- (5) 校内支援の充実のために校内体制の整備と地域連携の充実を図る。

4. 安全で安心な学校づくり

- (1) 人権及び人権問題に関する正しい理解を深め、様々な人権問題の解決をめざした教育の推進に努める。
- (2) 児童生徒の主体的な人権啓発活動を推進するために、児童生徒会人権委員会の活動を支援していく。
- (3) 大規模災害等の対応のために、実践的な訓練の実施と検証、及び安全対策・安全教育を推進する。
- (4) 医療的ケアを必要とする児童生徒の安全で安心な教育環境の確保のために、校内体制の充実と関係機関等との連携を強化する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析[令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 教育的ニーズを踏まえた教育活動の推進	(1)キャリア教育の推進 (2)自立活動の指導の充実	(1)キャリア教育コーディネーターは、キャリア教育全体計画を推進する キャリア教育理解のための取組みの充実 4観点(人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意思決定能力)を組み込んだ授業シート(キラキラシート)の活用の推進 学びの連続性の構築のため、学部を超えての共同学習の推進 (2)「パワー自立活動プロジェクト」を活用した授業実践を推進する パワープレート等の機器の活用による自立活動の充実 個別の教育支援計画の運用	(1) キャリア教育全体計画に基づいた取組みの実践 初任期等の授業研究の際に活用 共同学習の開催(年2回) キャリア教育に関する肯定的評価(教員・保護者)を78%(H29 62.7% H30 76.1% R1 76.0%)以上 (2) 機器の活用方法マニュアル・子どものニーズごとのパワー自立活動マニュアルの作成、研修会2回以上実施 年度内に自立活動の観点を入れた個別の教育支援計画の様式改訂に伴うガイドライン作成 個別の教育支援計画に関する肯定的評価を(教員・保護者)80%(H29 84.5% H30 86.5% R1 77.2%)以上	
	2 専門性と授業力の向上	(1)新学習指導要領に基づいた教育課程の編成に基づく授業実践への取組み (2)多様化する児童生徒への支援における教員の専門性や授業力の向上 (3)教員の働き方改革を進めながら効率的・機能的な運営組織の構築	(1)新学習指導要領に基づいた教育課程を編成した授業実践をする 新教育課程に基づいた授業の実践 (2)教員の専門性や授業力の向上のための取組みを推進する 育成チーム・システム(首席等によるチーム年間研修)の継続強化 外部研修への積極的派遣 研究テーマに即した校内研修や様々なニーズに対応できる専門性向上研修の設定 ICT 機器等活用した授業の展開 生涯スポーツへの取組み (3)組織運営の再構築をめざす 首席の組織連携体制の強化 教員の活力向上と業務軽減を図りながら充実した教育活動を実現するための方策を検討	(1) 新教育課程における授業実践への取組み シラバス作成に関する肯定的評価を83%(H29 76.3% H30 78.3% R1 81.7%)以上 (2) 月1回の校内育成チーム研修を継続実施 外部研修への派遣4名以上 教員のニーズ(重度重複・愛着障がい等)に応じた研修の実施 視線入力機器・電子黒板等活用の授業を各学部で展開 ポッチャ・棒サッカー等への取組み 研修体制に関する肯定的評価を80%(H29 79.9% H30 86.0% R1 77.8%)以上 (3) 月1回程度首席連絡会の実施 業務軽減をめざした校務の整理と役割分担の見直し 組織運営に対する肯定的評価を79%(H29 71.9% H30 72.9% R1 77.0%)以上 ストレスチェックの総合健康リスクの値を下げる
(1)学校情報の積極的な発信 (2)地域における支援教育の専門性向上のためのセンター的機能の充実 (3)校内支援の充実		(1)情報発信の充実をめざす 「学校だより」「ブログ」等の積極的な発信 進路に関する情報提供方法の工夫 (2)関係分掌等は支援教育のセンター的機能の充実のための取組みを推進する 豊中支援学校との連携を強化 豊能ブロックの市町教育委員会との連携を強化 箕面市教育委員会との継続連携の強化 (3)校内支援の充実のための取組みを進める 相談専任者(校内支援担当L・S)は、校内支援担当首席と連携しての地域関係機関との協同支援を推進 心理士等の活用 相談ボックス等活用した校内支援の充実を図る 医療的ケア等に関するケース会議の推進	(1) ブログ等の更新回数が前年度(106回)を上回る 学校ホームページに関する肯定的評価(教員・保護者)を90%(H29 80.9% H30 91.0% R1 89.3%)以上 進路に関する肯定的な評価(教員・保護者)を88%(H29 72.7% H30 77.0% R1 86.5%)以上 (2) 豊中支援学校との事業所説明会を共同開催・交流会の実施 豊能ブロックの市町のリーディングチームとの連携強化 箕面市の支援学級(肢体不自由学級)訪問による箕面市教育委員会との継続した連携の強化(箕面市リーディングチーム会議に参加) 地域支援に対する肯定的評価を93%(H29 79.1% H30 85.3% R1 92.9%)以上 (3) 地域関係機関や心理士等の活用による支援体制の強化 保護者・事業所からのニーズの収集 家庭支援に関する肯定的評価を93%(H29 79.1% H30 85.3% R1 92.9%)以上	
	4 安心して安全な学校づくり	(1)人権教育の総合的な推進 (2)大規模災害への具体的対応策の推進・強化 (3)医療的ケアを必要とする児童生徒の安全確保の推進	(1)人権啓発活動・教育の推進を継続する 児童生徒による人権啓発活動の継続 安全で安心な学校づくり推進事業参加 研修および人権教育の実施 地域の小中学校への人権啓発活動(出前授業) (2)大規模災害対応のための安全対策・安全教育を充実する 実践的な訓練の実施と検証。 備蓄品の充実 (3)医療的ケア部中心に、人工呼吸器が必要な児童生徒をはじめ、安全な医療的ケア実施のために以下の取組みを推進する システムチックな看護師体制確立 教員、養護教諭、看護師の連携強化 医療・福祉等関係機関との相互連携体制強化	(1) ~ ・人権に関する研修を2回実施 ・箕面市教委との連携を確立し、箕面市立学校への「人権に関する授業」を実施(5校) ・人権活動、人権意識に関する肯定的評価を93%(H29 76.2% H30 81.1% R1 93.7%)以上 (2) 現実的課題を想定した防災訓練(地震・火災等)や引き渡し訓練実施 備蓄品の充実 防災対策に対する肯定的評価(教員・保護者)を98%(H29 86.7% H30 93.4% R1 97.4%)以上 (3) 看護師研修(3回実施)巡回相談医の活用、保健室との連携 医療的ケアコーディネーターの役割の配置 主治医等の学校見学会・指導医の活用の定着 医療的ケアに対する肯定的評価(教員・保護者)を92%(H29 89.1% H30 91.3% R1 90.2%)以上